

福祉用具の開発（一九九七年～）

高齢者や障害者の自立度を高めるとともに、介護を担当される方のご負担を軽くするための福祉用具を開発して、新しい産業を作り出すことは、私達にとって、緊急の課題であると考え、技科大佐々木学長と協力して、福祉機器開発研究会を一九九七年に発足させました。

定期的に研究会を開催するとともに、会員が試作された機器の試用を、福祉村病院と身体障害者療護施設の珠藻荘で担当して、新しい福祉用具の開発と実用化を推進してゆきました。

二〇〇〇年からは、さわらび会の職員による福祉用具開発コンクールを年二回行っています。

福祉用具の開発は、今後も積極的に推進する必要があると考えております。